

2019年6月28日に公表いたしました「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」につきまして、公表したデータに誤りがありましたので、下記のとおり修正し、再公表させていただきます。

1. 投資信託の運用損益別顧客比率

誤)

運用損益率が 0%以上の顧客の割合	
2017年3月末	94.0%
2018年3月末	97.7%
2019年3月末	83.5%

正)

運用損益率が 0%以上の顧客の割合	
2017年3月末	94.1%
2018年3月末	97.7%
2019年3月末	83.6%

算出対象となる顧客に、共通 KPI の対象ではない法人口座が含まれておりましたので、個人口座に限定して集計しなおしております。

また、これに伴いまして、独自指標として公表いたしました「損益比率がプラスのお客さまの比率」と「5年以上継続積立のお客さまの運用損益がプラスの顧客比率の推移」につきましても、修正をいたしております。よろしくご確認の程、お願い申し上げます。

各位

コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井哲朗
東京都千代田区平河町 2-4-5

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」公表のお知らせ

コモンズ投信株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:伊井哲朗、以下「コモンズ投信」)は、金融庁が求める「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」についての2019年3月末時点実績を本日公表いたしましたことをご知らせいたします。

私たちコモンズ投信は、「顧客本位の業務運営に関する原則」の中で、私たちが考えるお客さま本位とは、「単なる投資に伴う経済的な成果だけではなく、お客さまとの長期的なお付き合いの中で、お客さまの『今日よりも、よい明日』を考える希望に寄り添い、少しでもお役に立つことを実践していくこと」といたしました。

その上で、昨年公表いたしました「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」における「投資信託の運用損益別顧客比率(2018年3月末時点)」において、プラス顧客の比率が97.7%となり、同時点の実績を公表した124の金融事業者の中で最高位となりました。

そして今回、2019年3月末実績を公表させていただきましたが、「投資信託の運用損益別顧客比率(2019年3月末時点)」については、プラス顧客比率が83.6%となっています。

一方、私たちコモンズ投信は、一貫して「つみたてによる資産形成」をお客さまに提案して参りました。また、資産形成の成功の秘訣は「つみたてを継続すること」として、お客さまに継続いただける仕組みづくりに取り組んで参りました。

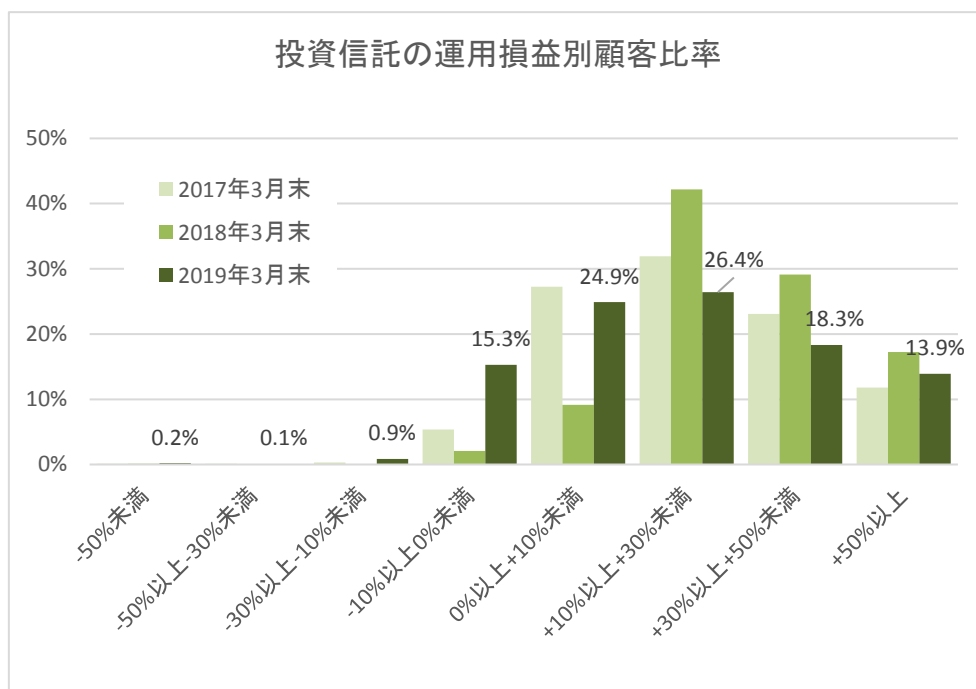
こうした趣旨に鑑み、今回新たに、私たちがお客さまに提供できる価値の見える化の一つとして、「5年以上継続して積立を行っている顧客損益比率の推移」を公表させていただきました。その結果、どの時点に於いてもほぼすべてのお客さまの損益比率がプラスになっていることを確認いたしました。

これは、弊社の「顧客本位の業務運営に関する原則」2-②「私たちは、お客さまの短期的な利益の追求ではなく、お客さまの長期的な資産形成による豊かな生活の実現を重視します。」の実現に向けた着実な一歩と考えております。

今後も、お客さまと共に、『今日よりも、よい明日』の希望の実現に少しでもお役に立てるファンド運営を目指し、役職員一同、変らぬ努力を続けて参ります。

1. 投資信託の運用損益別顧客比率

2019年3月末時点の投資信託残高に対するトータルリターンでは、83.6%のお客様が運用損益でプラスとなっています。



運用損益率が 0%以上の顧客の割合	
2017年3月末	94.1%
2018年3月末	97.7%
2019年3月末	83.6%

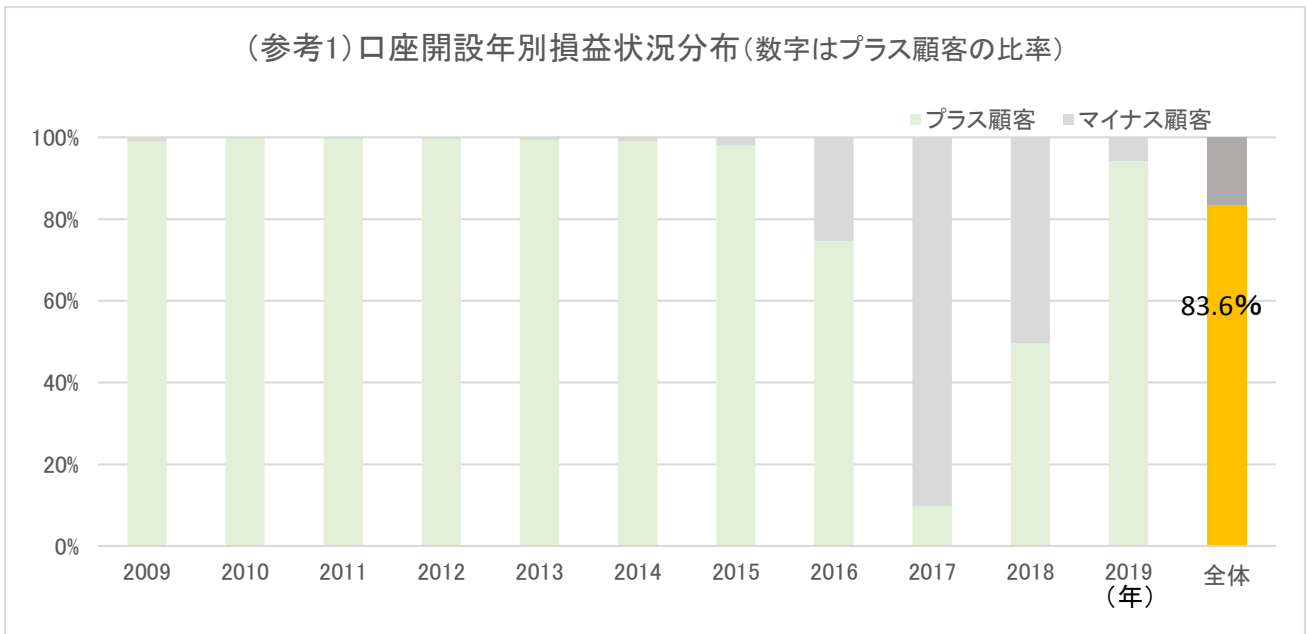
※各年3月末時点で残高ありの口座が対象(個人口座対象、ただし、相続等により購入データの存在しない顧客は集計対象外としてここには含まない)。

※運用損益は、基準日時点の評価金額+累計売付金額-累計買付金額にて算出(分配金(税引後)はすべて自動的に再投資買付が行われ、累計買付金額には含まれない)。

※累計買付金額、累計売付金額は2009年1月19日(ファンドの運用開始日)から、各年3月末までの通常の取引データを基に集計(移管等は含まず)。

※運用損益率は、上記運用損益を基準日各年3月末時点の評価金額で除して算出。

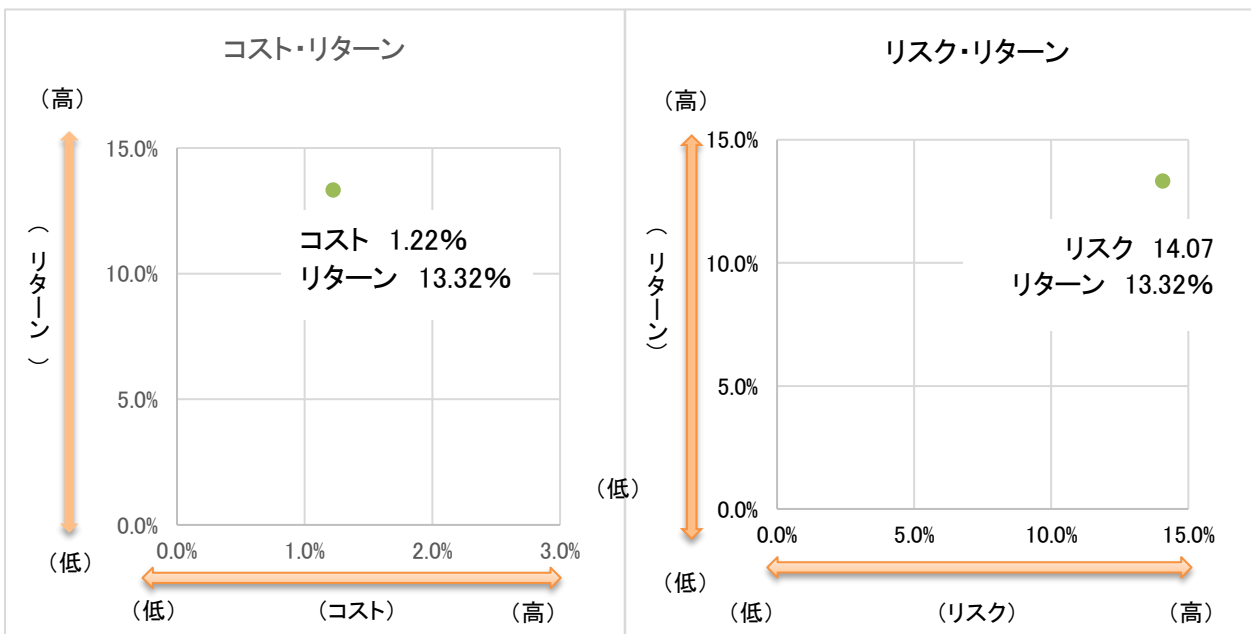
(参考1)口座開設年別損益状況分布



2. 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

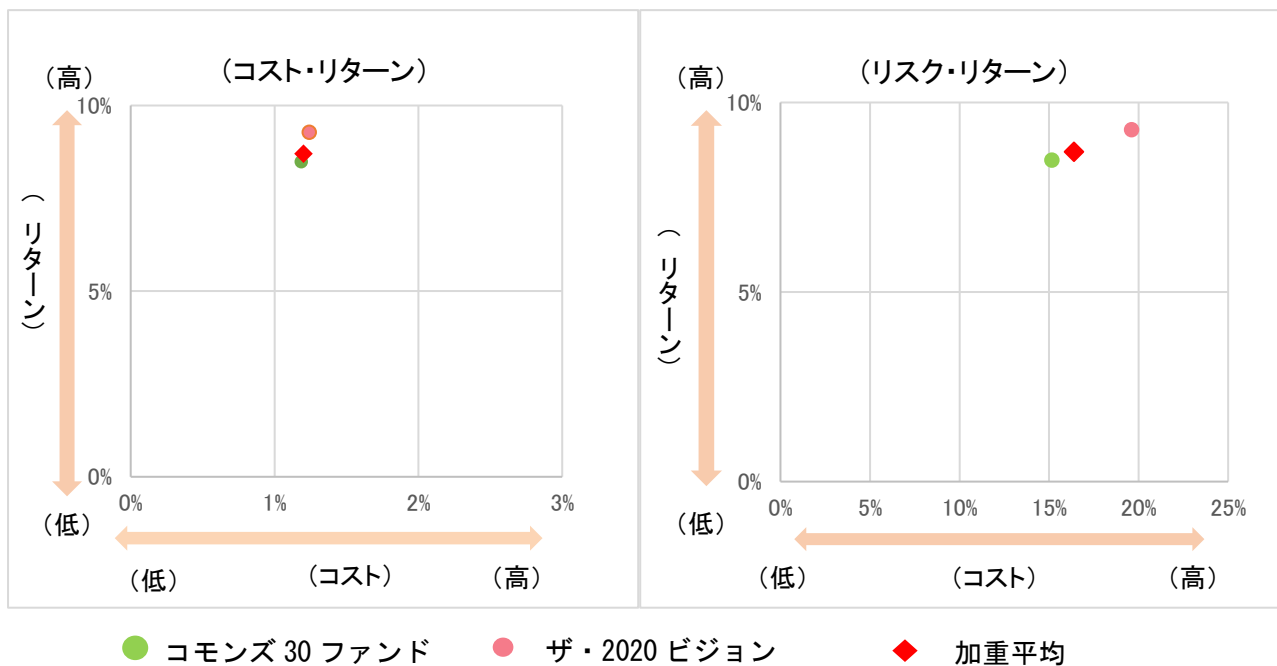
【2018年3月末】

(当社が運用・販売する投資信託のうち、設定後5年以上となるコモンズ 30 ファンドを対象に算出)



【2019年3月末】

(当社が運用・販売するコモンズ 30 ファンド、ザ・2020 ビジョンを対象に算出)



残高加重平均	コスト	リターン
	1.20%	8.70%

残高加重平均	リスク	リターン
	16.40%	8.70%

※コスト…信託報酬率を使用(販売手数料はありません)。コモンズ 30 ファンドは 2017 年 9 月 18 日までの信託報酬率は 1.2420%(税込)、2017 年 9 月 19 日以降は 1.0584%(税込)を日割按分して計算しています。ザ・2020 ビジョンは 1.242%(税込)となっております。

※リターン…過去 5 年間のトータルリターン(年率換算)。騰落率算出の際に用いた基準価額は分配金再投資後(税引前)を使用。

※リスク…過去 5 年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)。騰落率算出の際に用いた基準価額は分配金再投資後(税引前)を使用。

**当資料で示した実績は、過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を予想・あるいは保証するものではありません。

○取組みの見える化について

私たちコモンズ投信は、一貫して「つみたてによる資産形成」をお客さまに提案して参りました。また、資産形成の成功の秘訣は「つみたてを継続すること」として、お客さまに継続いただける仕組みづくりに取り組んで参りました。

こうした趣旨に鑑み、今回新たに、私たちがお客さまに提供できる価値の見える化の一環として、

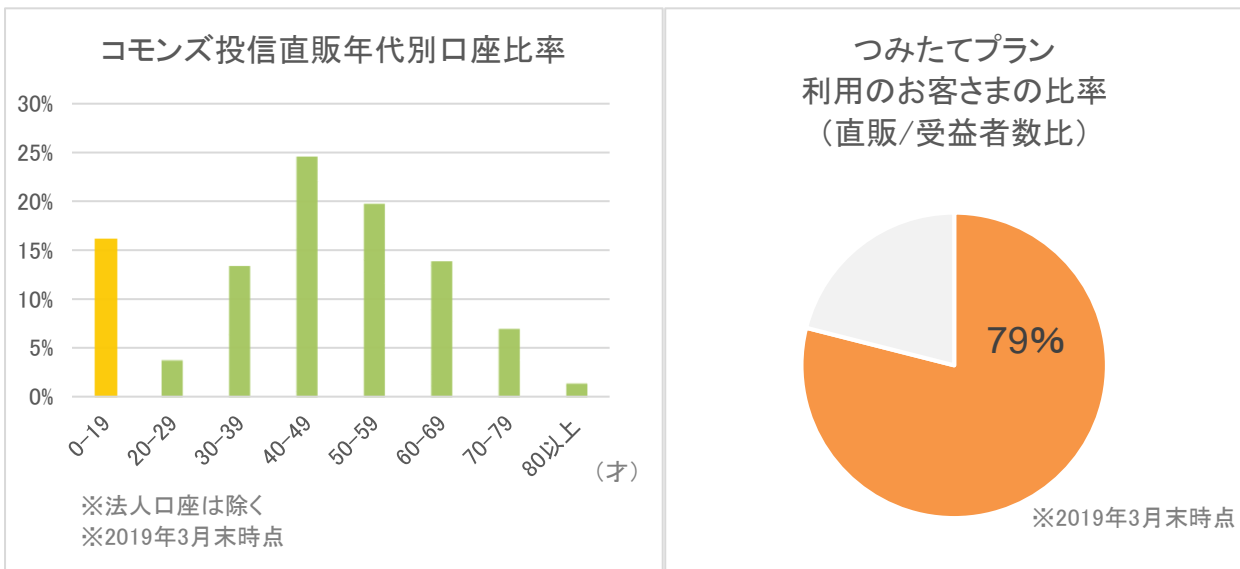
「年代別口座比率とつみたてプラン利用率」

「平均つみたて年数」

「運用損益がプラスの顧客比率の推移」

「5年以上積立を継続されている顧客の、運用損益比率がプラスの顧客比率の推移」について公表させていただきます。

(参考2) コモンズ投信年代別口座比率とつみたてプラン利用顧客比率



(参考3) 平均積立年数: 4.0年

※2019年3月末までに「つみたてプラン」を利用したことがあるお客さまの平均積立年数。

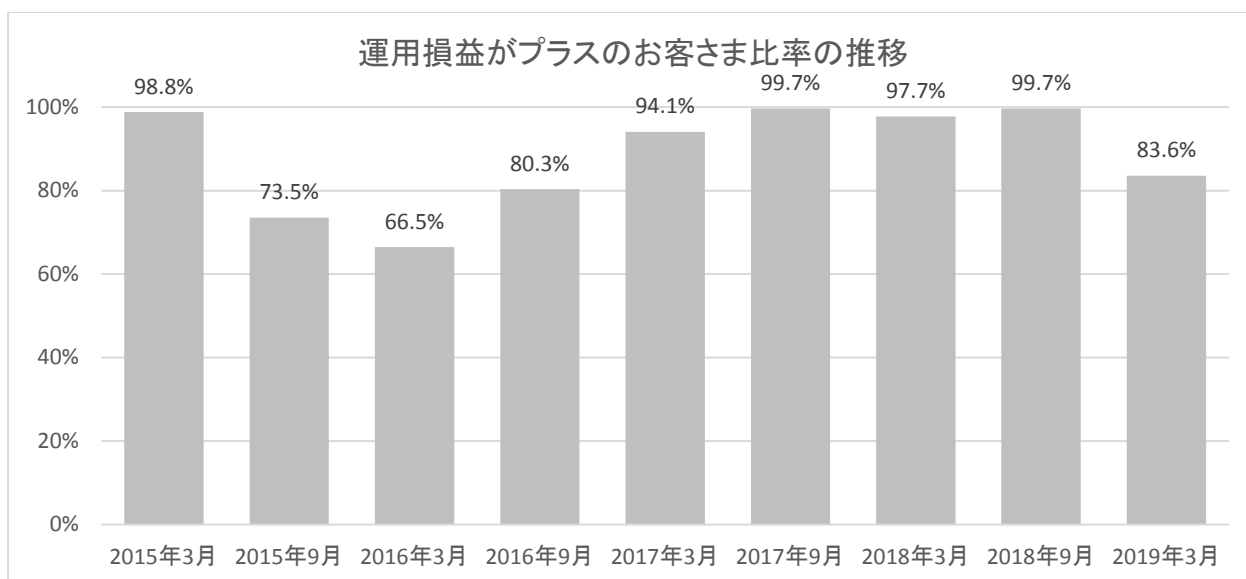
(参考4) 運用損益がプラスの顧客比率の推移と、

5年以上積立を継続されているお客さまの、運用損益がプラスの比率の推移

2015年3月末以降の運用損益がプラスの顧客比率の推移は、高水準を維持しているものの、その時々々の外部環境やマーケットの変動要因によって、大きく落ち込む局面があったことが確認できました。

一方、同タイミングにおいて、積立を5年以上継続されているお客さまのみを対象として同様に運用損益がプラスの顧客比率を算出したところ、どの時点に於いてもほぼすべてのお客さまがプラスになっていることが確認できました。

こうした実績を、より多くのお客さまにお届けできるよう、今後も積立を活用した長期の資産形成の推進を行って参ります。

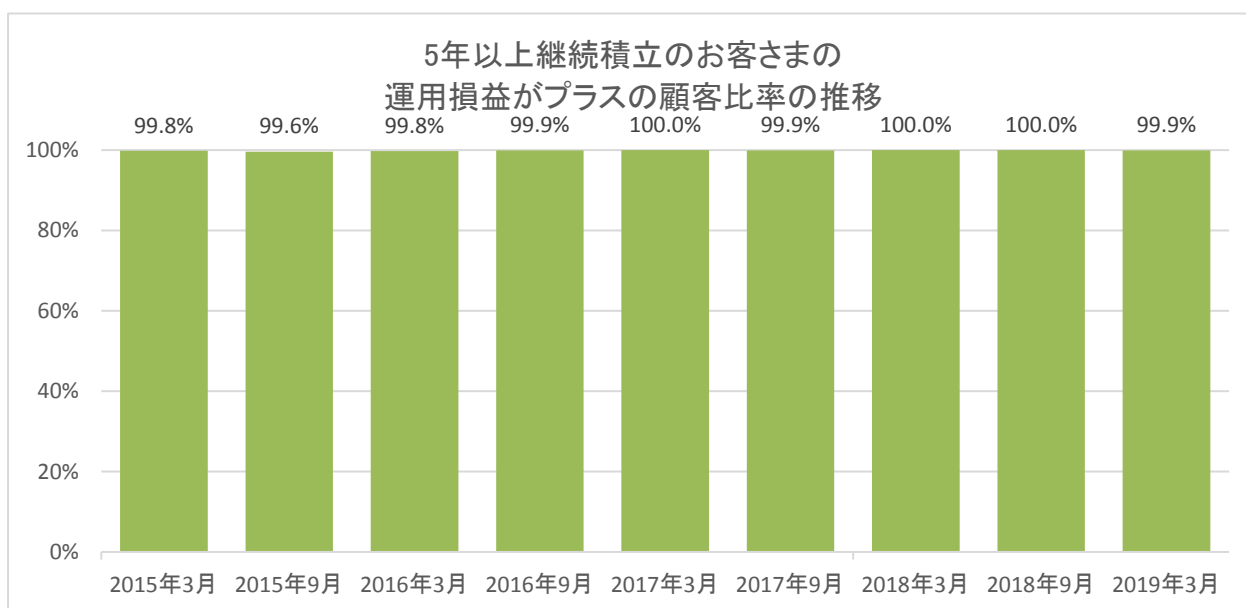


※各年3月末と9月末時点で残高ありの口座が対象(個人口座対象、ただし、相続等により購入データの存在しない顧客は集計対象外としてここには含まない)。

※運用損益は、基準日時点の評価金額+累計売付金額-累計買付金額にて算出(分配金(税引後)はすべて自動的に再投資買付が行われ、累計買付金額には含まれない)。

※累計買付金額、累計売付金額は2009年1月19日(ファンドの運用開始日)から、各年3月末までの通常の取引データを基に集計(移管等は含まず)。

※運用損益率は、上記運用損益を基準日各年3月末と9月末時点の評価金額で除して算出。



※2015年3月末時点より、各基準日時点において、5年以上継続して積立をされている方を対象とし運用損益がプラスのお客さまの比率を算出(積立とスポットを併用されている方も含む)。

本件に関する問い合わせ先: マーケティング部 福本(03-3221-9230,pr@commons30.jp)

コモズ 30 ファンド、ザ・2020 ビジョンの費用について

購入時手数料	当社で購入される場合は、ありません。
換金時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	(30F の場合) ファンドの純資産総額に年 1.0584% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は信託報酬控除後のものです。 (20V の場合) ファンドの純資産総額に年 1.242% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は信託報酬控除後のものです。 (共通) 信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として純資産総額の 0.108% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。 ※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモズ 30 ファンド、ザ・2020 ビジョンのリスクについて(共通)

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【ご留意事項】

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。

その結果、基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は信託報酬等の諸費用がかかります。投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にご確認いただき、ご自身でご判断ください。



コモズ投信株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-5
平河町 K ビル 5 階
以上